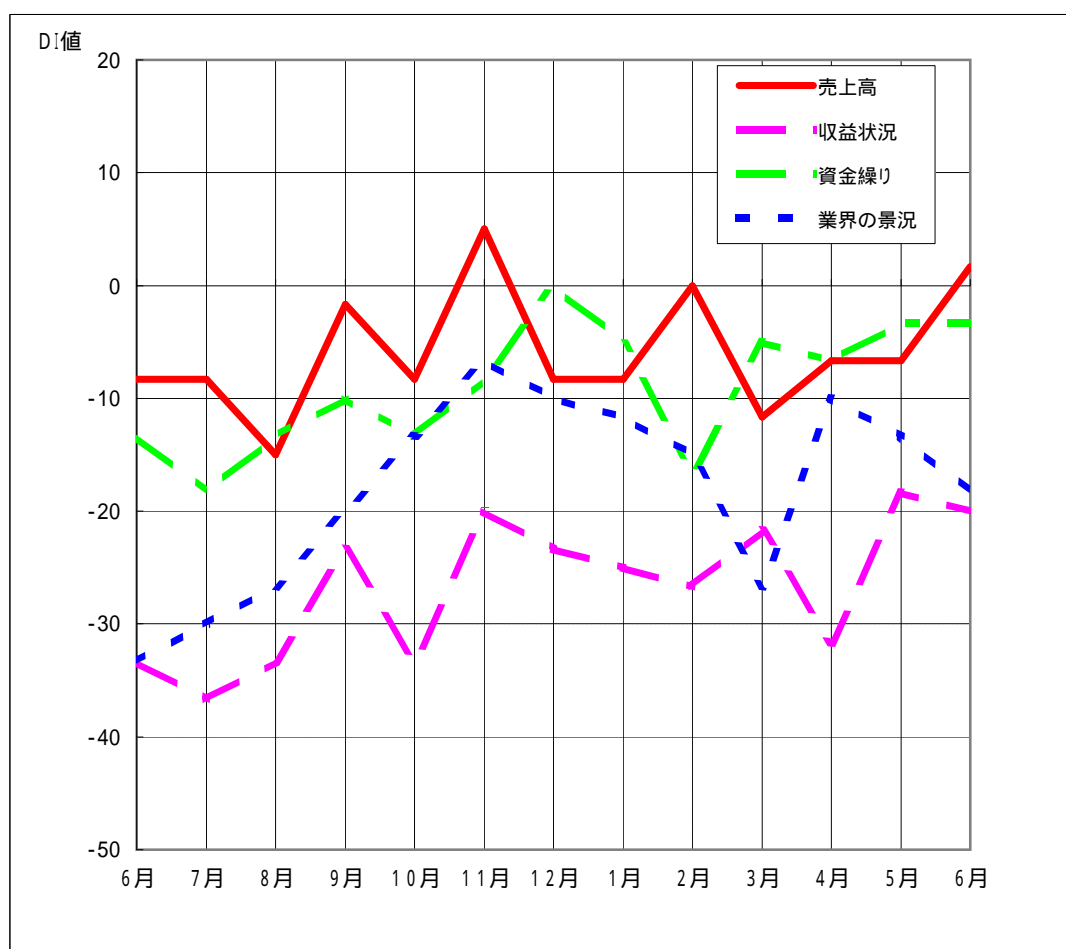


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成17年6月～平成18年6月

単位:ポイント



	H17						H18						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3	5.0	-8.3	-8.3	0.0	-11.7	-6.7	-6.7	1.7
収益状況	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0
資金繰り	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3
業界の景況	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3

6月のDI値をみると、前年同月より上記全項目で好転した。「売上高」については前年同月より10.0ポイント改善し、プラスに転じた。「収益状況」については、13.3ポイントの改善でマイナス20.0に推移、「資金繰り」については、10.0ポイント改善し、マイナス一桁台を継続中。「業界の景況」については15.0ポイントの改善でマイナス18.3に推移した。

ここ3ヶ月の傾向をみると中小企業の業況は、一進一退に推移しており、特に「収益状況」、「業界の景況」については依然厳しい状況が続いていることが伺われる。

組合の特記事項から、製造業では「木材・木製品」、「鉄鋼・金属」の一部で、受注増加・受注安定との報告が見受けられたが、依然として原料価格の高値が続いており収益性が厳しい状況である。また非製造業においては、「商店街」で改正道路交通法の施行による影響が出てきており、「売上」、「収益状況」、「業界の景況」ともに半数が減少・悪化という回答であった。県内の中小企業は前月期同様に、原材料費の高値推移により収益が圧迫され、相変わらず先行き不透明で厳しい状況が続いていることが窺える。